



# スキー協通信

No.474  
発行  
2025.1.1

## 東京都勤労者スキー協議会

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22山柿ビル3F 03-5842-1932  
ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：[info@tokyoskikyo.org](mailto:info@tokyoskikyo.org)  
ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004（東京都勤労者スキー協議会）  
00140-5-659281（東京スキー協スキーメイト係）  
広報局専用 E-mail：[tskikyo.koho@gmail.com](mailto:tskikyo.koho@gmail.com)

発行責任者  
出崎福男

## 2025年

## あけまして

## おめでとうございます



目標「けが人なし」達成！

## 2024 テクニカルフェスタ、54名で開催



2024/12/13~15、志賀高原一の瀬を会場にして、2024 テクニカルフェスタが開催されました。一般レベルアップコース 24 人、指導員研修コース 15 人、指導員養成実技コース 6 人、講師・スタッフ 9 人。総勢 54 人、17 クラブ（千葉・神奈川・埼玉を含む）の参加でした。中日の 14 日（土）こそ、雪に降り込められたものの、初日、最終日は申し分ない雪面状況と晴天に恵まれ、怪我もなく、充実した講習・研修が行われました。詳細については参加者の感想なども含め、2月号でお知らせします。

### 目次

新年のご挨拶／組織拡大経験交流会 報告	2 頁
全国大会 案内／ゆりかもめリレーマラソン 報告	3 頁
ビーコン操作及び緊急対応訓練 報告	4・5 頁
会議の報告／かぐら山スキー教室 案内	6 頁
シャトー塩沢GSポールレッスン 案内	7 頁
中央研修会 報告／組織局よりお知らせ／1・2月のカレンダー／エビノシッポ	8 頁

## 新年のご挨拶

### 2025年 明けましておめでとうございます

穏やかな新年をお迎えのことと思います。加盟クラブと会員みなさまに、幸多き1年となりますことを祈念いたします。本年も東京スキー協の発展、前進に、みなさまのお力添えをお願い申し上げます。

昨年11月に日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）のノーベル平和賞受賞が発表され、12月には、ノルウェーの首都オスロで授賞式が行われました。ノーベル委員会のフリードネス委員長は、「日本被団協が証言活動を通じて核兵器使用のタブーを築いてきた」と敬意を表明しています。

長崎原爆で被爆された日本被団協・代表委員の1人、田中熙巳氏が講演、ご自身の被爆体験と、日本被団協の歴史（1956年結成）を語り、最後に「人類が核兵器で自滅することのないように！！そして、核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共に頑張りましょう！！ありがとうございました。」と結んでいます。核兵器は一発たりとも持つてはいけません。

あらためてこの地球上から、核兵器も戦争もない、人類が共に手を結びあう世界を求めていきましょう。

2025年1月 東京都勤労者スキー協議会 間間 至

本の紹介：NHKTVでドラマ化された原作本の文庫版です。ご一読いただけたら嬉しいです。

「家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった」

著者：岸田奈美 発行：小学館文庫

## 組織拡大経験交流会が開催されました

東京スキー協副理事長 星野昌弘

去る11月30日新日本スポーツ連盟会議室において組織拡大経験交流会が開催されました。前半は出崎理事長の「組織拡大にむけての問題提起」があり、後半は新日本スポーツ連盟の佐藤事務局長から「SNSとりわけX（ツイッター）を使つてのクラブ紹介」について報告がありました。

当日の参加者は8クラブ8名と少数精鋭でしたが、佐藤事務局長のパソコンを使つての説明に理解が進みました。とりわけ、参加者自身の携帯に実際にXをインストールし、参加クラブの紹介をする場面では「情報がパスされた、パスされない」など声が飛び交い、大いに盛り上がった研修となりました。

今後は、各クラブがSNSなどツールを使つて、スキーの裾野を広げる活動が活発に行われることを、期待される研修会となりました。



# 新日本スポーツ連盟 第35回全国スポーツ祭典 第51回全国スキー・スノーボード競技大会



## 湯の丸スキー場

2025年2月21日(金)前日練習

2月22日(土)GS 2本

2月23日(日)SL 2本



**伴走があれば未就学児でも参加可！ 競技初体験クラスあり！**

主催・主管：全国勤労者スキー協議会・関西ブロック

\*競技の詳細・申し込みは全国スキー協のホームページで ↓

[https://www.mmjp.or.jp/wsai/information/20250221\\_51th\\_info.pdf](https://www.mmjp.or.jp/wsai/information/20250221_51th_info.pdf)

## ゆりかもめリレーマラソン

東京臨海広域防災公園 2024/11/17

主催：新日本スポーツ連盟東京都連盟

11月17日、中野SNOWの川上咲子さんに誘われ、ゆりかもめリレーマラソンに初めて参加しました。有明駅から1分、会場に到着すると、たくさんの参加者が周回コース内側の芝生に荷物を置き、食べたり飲んだりしゃべったり、ピクニックのような光景です。1チーム3人～6人で、1.3kmの周回コースをリレー形式で16周走ります。メンバーだけ届け出れば、順番や回数は自由なので、その場で作戦変更することもできます。

プログラムのコメントを見ると、「会社のなかよしメンバーです」、「普段は運動をしないチームです」といったチームから、本格的なランニングクラブまで様々です。私たちはというと、集まっ

てみたら普段はあまり走ったりしない、4人でした。なんとひとつ順位が上のチームから3週ほど遅れ、ダントツの最下位でゴールしたのでした。(川上さんはケガの治療中で、今回は走らず)

結果はともかく、アットホームな大会の雰囲気もよく、見通しがいいコースで気持ちよく走れました。川上さんが毎年総会などで、走りましょう！とアピールしてきた理由がわかる気がします。いつの間にか次も走る気になっている私でした。次はせめて最下位“争い”がしたい…。どなたか一緒に走ってください！！



走り終わって参加賞のドリンクで乾杯



月島へ移動して、おつかれ会

長谷川 かよ子 (まっくろけ)

# ビーコン操作及び緊急対応訓練 報告

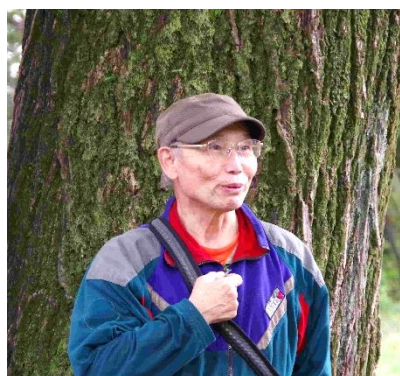
菱沼 正義 (山スキー委員 S.C. こなゆき)

11月16日(土)に昨年と同様に都立野川公園(三鷹市大沢)において、東京スキー協山スキー委員会主催(主管:S.C.こなゆき)のビーコン操作及び緊急対応訓練が行われました。参加者は講師を含めて23名。この内19名がスキー協会員(雪けむり、EGS、三多摩山スキー、エーデルヴァイス、こなゆき)で、一般参加者が4名でした。

午前9時40分武蔵野公園バス停に集合し、会場の野川公園まで徒歩で移動。紅葉はまだでしたが、よく手入れをされた樹々が適度に配置されている広々とした気持ちの良い公園でした。東屋の脇にある大きなケヤキの前を講習場所として、操作訓練が行われました。参加者の自己紹介後、東京スキー協山スキー委員で全国スキー協山スキー部島崎部長から「全国山スキー部として活性化をめざし、いろいろな面で改革に取り組んでいる。今回のような行事はクラブ間の交流も活発になる良い機会。また気候変動により雪崩の危険も増しているのので、しっかり雪崩ビーコン訓練に取り組んで欲しい。先週11月8日(金)に「山スキーの集い」を開催し、来週23日~24日は「山スキー基礎講座」も予定している。全国山スキー部として“安全に仲間と楽しく山スキー”の普及を目指している。訓練終了後に懇親会も予定されているので山スキー愛好者同士の交流も深めて欲しい。」と挨拶がありました。



島崎全国山スキー部長 (EGS)



陶山講師 (三多摩山スキー)

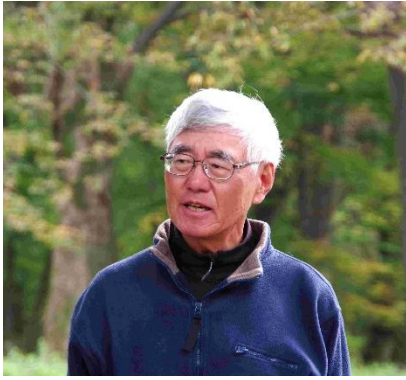
今回の講師陣は、①日本雪崩捜索訓練協議会上級コース受講修了者の陶山正さん(東京スキー協三多摩スキークラブ会員/労山所属) ②木下光政さん(労山雪崩講習会講師養成クラス終了/労山全国雪崩講習会講師歴任/労山練馬山の会所属/東京スキー協S.C.雪けむり会員) 及び③島崎成利さん(全国スキー協山スキー部長/日本雪崩捜索救助協議会上級コース受講修了者/日本雪崩ネットワーク雪崩業務従事者レベル1資格者)、補助として④大津武さん(S.C.こなゆき会員、山スキーリーダー)の4名が担当しました。また今回初めて⑤東京消防庁八王子消防署の石堂志直さんから救急法、山での

遭難救助などについて専門的な講義がありました。

陶山さんの講義は配布された資料に基に、雪崩の現象、雪崩時の救助体制についての説明。雪崩時に捜索するための装備(3点セット:雪崩ビーコン・スコップ・ゾンデ棒)について説明。ビーコンの特性とそれに基づいた埋没者の捜索方法について実践的な詳しい説明がありました。講義のあと各自のビーコンを使用した捜索訓練を実施。その後、約半径10m円の



中心に発信機(ビーコン1台横向)を設置し、メンバーを3~4組に分け、0度、90度、180度、270度の各方向から、1組ずつ、2名のうち1名は自分のビーコンが示す方向を確認しながら、中心に設置された発信機にビーコンを膝の高さに水平にし、ゆっくり近づき他の1名はその軌跡が分かるように、小刻みに目印(小型カラーコーン)を設置した。90度、270度の組はこの軌跡(小型カラーコーン)は曲線を描きながらビーコンに近づくことを明確に示した。発信機(ビーコン)からの電波は楕円状に広がり、曲線を描くように近づくことが目視で理解できた。発信機から約3m



木下講師（雪けむり）

位からは、更にビーコンを膝の高さ以下に水平にし、ゆっくり正確に近づくことが埋没者（ビーコン） 捜索にとって大変重要なポイントになることが良く理解出来た。発信機の向きによって比較的強い電波を捉えることも確認しました。

木下講師からは、埋没者の位置を特定する段階（ファインサーチ）は正確さ、規則正しさ、丁寧さが求められることを、地面に線を引きながら説明があった。島崎講師からは、各自のビーコンの性能、特徴など良く理解すること、また経年劣化していないかチェックすることなど説明があった。

陶山さん製作の機材を十二分に活用した密度の濃い雪崩ビーコン操作訓練となりました。質疑応答を行い午前中の訓練は終了しました。

12時10分ごろに場所を移動し、今回初めて、救急・救助の専門家の石堂志直さんから、資料に基づいて、救急法などについて解りやすい説明がありました。また山での遭難、怪我などの対応（救急法と搬送法）についても、“誰がいつ、何処に連絡するのか”、また“どのようにして救助を待つのか”など救助要請を受ける立場としての講義は大変有意義なものでした。1時間にわたる講義後に質疑応答を行い、訓練行事は無事終了しました。



石堂講師（東京消防庁）



その後、昼食を兼ねての交流会「懇親おでんランチ会」が行われました。持ち寄った飲み物で1時間ほどの楽しい交流会になりました。主管したこなゆきの担当者から、「雪上での雪崩ビーコン操作訓練を東京山スキー委員会主催の山スキー教室で是非実施したい」との閉会挨拶があり、有意義な行事を終了しました。



# 会議の報告

第57期 第3回理事会 2024.11.14 (水)

Zoomによるオンライン会議 出席 19人/28人中

## 【本日の会議の目的】

スキーシーズン中の東京スキー協主催行事の成功と各クラブの行事、活動の活性化の意思統一を行う。

1. 会員登録、公認資格者登録事務及び会費、登録料の納付状況  
会員登録数 27 クラブ 372 人/公認資格者数 81 人 (山スキー、セッター含む) ▲2/スキー指導員 74 人▲1、山スキーリーダー13人▲1/セッター1人/スノーボード指導員 0 人/会費納入状況 27 クラブ 359 人 未納クラブ 2、13 人
2. 活動の報告
  - ・スキーセミナー：9月29日(日)目黒区立緑が丘文化会館。24クラブ、56名(当日欠席3名)  
第1部：講師：福島全国指導員部部長  
第2部：POW Japan 代表理事 小松吾郎さん  
人口の3.5%の行動が世論を動かすという話が印象的だった。
  - ・指導員ミーティング  
10月26日(土)目黒区立緑が丘文化会館。11名参加。自分がclassを持った時どう指導するか、共通の課題を見つけて討論した(KJ法を用い、意見を集約し、課題をあぶり出す)
3. クラブ交流BBQについて

10月27日(日)都立小金井公園 BBQ広場  
12クラブ42名参加(子ども2名)。駅伝はなし、交流を主体に開催。収支は黒字、次回実行委員会で感想等を集約し総括して来年度に反映していく。

4. 山スキーのつどい  
11月8日(金)としま産業振興プラザ(池袋)  
21名参加。講師：POW副事務局長の脊戸柳さんの講演。今年もカモシカよりマテリアルを展示していただき、参加者に手に取って商品を見てもらった。
5. 全国スキー協理事会  
11月10日(日) WEB開催  
デモンストレーター選考規程改定 第12条(特典)に第2項を加える  
指導員規程改定第14条(受講資格)第3項の修正
6. 東京スキー競技大会(2/8-9)、テクニカルフェスタ(12/13-15)、組織拡大経験交流会(11/30)の参加呼びかけ
7. 各クラブから
  - ・町田シャスネージュ、プレアデス：12月の初滑りはテクニカルフェスタに参加する。
  - ・こなゆき：初めての取組みとして「ゆったりスキー」を行う。スキー協行事への参加も強めたい。3月の乗鞍山スキーは、初心者OKとしているので会員拡大の機会でもあり力を入れたい。
  - ・銀嶺：BBQ交流会に参加した。ここ数年活動していないので個人的にスキー行事に誘っていく。
  - ・中野スノー：クラブとしての行事予定がないので東京スキー協の行事に参加していきたい。

2025 Jan. 東京スキー協山スキー教室(第1回)

バックカントリーをこれから始める人へ

## 神楽峰

(場所) みつまた神楽スキー場とその周辺山城

(期日) 2025年1月18日(土)~19日(日)

(集合) 1月18日(土) みつまたロッジ 午前10:30集合

(越後湯沢駅東口9:06発、9:31かぐらスキー場着)

(定員) 10名 最小催行5名

(行動予定) 第1日 ゲレンデ、サイドカントリー 第2日 かぐら峰周辺(14時宿舎帰着・解散)

(宿泊予定) みつまたロッジ ☎025-788-9116 〒949-6211 新潟県南魚沼郡湯沢町三俣730

(参加費) 24,500円宿泊1泊2食、保険料、事務費等(スキー協会会員には、割引があります)  
昼食代、交通費、リフト代などは別途必要になります。

持ち物、申し込み先など、詳しくはこちらをご覧ください ⇒ <https://www.tokyoskikyo.org/?p=1127>

# シャトー塩沢 GS ポールレッスン

競技スキー初心者大歓迎！

2025年1月25日～26日（土～日）



会場 シャトー塩沢吉里ゲレンデ

参加費 25000円  
（一泊二食・レッスン・保険）（初参加割引あり）

定員 15名

コーチ 三増 健一 さん

締切 2025年1月15日（水）

東京スキー協ホームページ掲載競技スキー委員会チラシの申込書  
に記入の上、下記メールに添付或いは全項目の記入お願い致します。  
（メール環境の無い方は右記担当携帯まで 矢吹携帯 09039641127）

集合時間・場所 1月25日 AM10:00  
吉里ゲレンデ第2リフト降り場付近予定

宿泊場所 シャトーテレー一本杉  
〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢 2071  
TEL:025-782-1191

※1月24日(金)はシャトーテレー一本杉には宿泊はできません。25日(土)朝、上越線塩沢  
駅8時32分着の列車にはホテルのバスのお迎え可能です。希望者はその旨記入願います。  
※日帰り（各自）参加可能です。

問い合わせ・申込み先⇒ メールアドレス [tokyoskikyo@yahoo.co.jp](mailto:tokyoskikyo@yahoo.co.jp)

## 中央研修会 熊の湯スキー場 2024/12/7-8

今年も熊の湯スキー場で中央研修会が開催され、受講者 59 名班（9 班）、講師・事務局 10 名が参加しました。今年のテーマは「真下への横滑り左右連続から谷回りターン技術への展開」、（副題：ベーシックパラレルターンの理解）ということです。腰（ローテーション）ではなく股関節（アンギュレーション）で外圧を受けとめる、内腰つり上げで外足荷重を強めたら外脚の長さを一定に、内外旋を使って角付けを強め深いターン弧を描く、といったことを中心に、研修が進められました。2 日目は風やガスが発生し気温も低く、厳しい天候のなか目合わせまで行われました。



理論研修は、コロナ後は恒例になっている youtube で動画を事前に関連することで効率がよく、雪上の研修に集中して取り組みやすくなったと思います。なお、翌日月曜からの平日プランは 22 名（3 班）、講師 3 名で行われました。（広報局：長谷川）

### 組織局よりお知らせ

#### 会員証の発行と、会員割り引き特典について

11月30日、スキー協事務所において第57期会員証を発行しました。本来、2024～2025 シーズンは57期ですが、誤って56期と記載してしまいました。誌面をお借りしてお詫び申し上げます。なお、常任理事会で協議し、再発行は行わないことになりましたので、ご承知おき願います。

今シーズン、ホームページで紹介するショップ及び宿は、八王子にある「スキーショップ DAI-CHI」、かぐらみつまたにある「ロジサンモリッツ」、野沢温泉にある「モルゲンロート山崎」の3件です。現在割り引き特典について調整中で、決定次第ホームページに掲載していきます。

会員の皆さん、大いに活用してください。（局長：星野 昌弘）

### 1・2月のカレンダー

1月	行事名	2月	行事名
8(水)	常任理事会	7(金)	東京競技大会前日練習会
11-13(土-月)	かたしなポールキャンプ	8-9(土日)	第49回東京競技大会(シャトー塩沢)
11-13(土-月)	パウダーフェス北海道(全国)	11(火)	広報局会議
11-12(土日)	スノーボード部ベーシックキャンプ・技能テスト検定会	12(水)	常任理事会
14(火)	広報局会議	15-16(土日)	舞子・巻機山山スキー教室
18-19(土日)	かぐら山スキー教室	15-16(土日)	SL練習会中止 神奈川県スキー協大会への参加中止
24(火)	通信発送	〃	関越ブロック初・中・上級指導員検定会
25-26(土日)	シャトー塩沢GS練習会	〃	スノーボード部テクニカルキャンプ
〃	STC&デモ選(北海道)	22-23(土日)	第51回全国スキー競技大会(湯の丸)
		25(火)	通信発送

### 編集後記 エビノシッポ

11月上旬まで気温が高く、雪は降るのかと心配になりましたが、12月になり各地からスキー場オープンの報告が続々とありました。例年なら既に雪上に立っていますが、今シーズンは諸事情により難しい状況です。その代わりではありませんが、WordPressの勉強をしてホームページ更新でスキー協に貢献したいと思っています。（芦村）